

溶接・板金コースについて ～よくある質問～

Q このコースに入るとどんなことができるようになりますか。

A 金属を高温のアーク(電気)で溶かして接合する溶接技術や、薄い金属板からレーザーカッターで部品を切り抜き、折り曲げ加工や溶接をして製品を作る板金加工の技術を身につけることができます。

Q どのような資格が取得できますか。

A 溶接・板金コースでは訓練期間中に「ガス溶接技能講習」、「アーク溶接特別教育」、「自由研削といし特別教育」「動力プレス特別教育」の修了証を無料で取得することができます。溶接や板金の仕事をする会社では、知識が無いまま機械を操作すると重大な労働災害を引き起こしてしまうかもしれません。そのため労働災害が起きないように安全教育を実施するように法令で定められています。コース内で取得できる資格はその安全作業の教育を修了した方に交付するものです。

また、JIS(日本産業規格)では溶接の技術を認証する「溶接技能者評価試験」という資格試験があり、多くの技術校生が訓練期間中に受験し合格しています。この試験は基本レベルから専門レベルまであり、多くの試験種目に合格していると、携われる仕事も多くなってきます。溶接の訓練では、この試験課題と同等のものを練習していきますので合格率も高くなっていきます。

Q 勉強が苦手なのですがついていけるでしょうか。

A 職業訓練は就職のための知識や技能を身につけるためのものです。仕事のために新たに覚えなければいけないこともあります。ご自身が就きたいと思う仕事に関することでもあり、義務教育のような「勉強」と身構えなくても大丈夫です。また、溶接・板金コースの指導員はきめ細かい指導を心がけており、苦手なところを克服できるように何度でも説明します。

Q 手先が不器用なのですが、ついていけるでしょうか。

A 手先が器用な人に比べると技能の習得には時間を要しますが、繰り返し練習することで徐々にできるようになります。また、指導員が受講者の様子を見ながら一人ひとりに合わせてサポートしますので安心してください。

Q 体力的についていけるでしょうか。

A 今現在は体力に自信がなくても、訓練が修了するころには自信が持てるようになると思います。訓練も徐々に慣れてもらえるようにカリキュラムを工夫しながら行っています。

Q 今までと全く違う職種ですが、就職できますか。

A 溶接・板金コースに入校される技術校生のほとんどは未経験者です。コースの訓練カリキュラムは未経験の方を対象としており、多くの修了生がコースに関連した職種の就職先で活躍されています。

Q 就職後はどのようなキャリアプランがありますか。

A 溶接工として就職した場合は、溶接技術をさらに向上して溶接技能者評価試験の専門レベルの資格や、施工管理の資格を取得されて、その後会社内で溶接の指導者となる方もいます。板金工に就職した場合は技能検定(国家試験)の1級、2級を取得されてスキルアップしながら、部門の主任などになる方もいます。

Q 溶接の仕事はいわゆる3K(きつい、汚い、危険)なのですか。

A 私たちの住む街中には、構造物(ビルや橋など)や乗り物(飛行機、電車、自動車)から家電製品など至る所に金属製品があり、溶接技術や板金技術によって私たちの生活は支えられています。このような製品を製造する過程に3Kの要素が一切ないとはいえません。大型の機械を使用することもありますので、事故が発生すれば危険となる可能性もあります。また、時には暑さで環境が過酷なこともあるかもしれません。しかし会社も安全作業を第一に仕事を進めますし、様々な設備の導入で働く環境も変わってきています。そのような中、工場では職人の方々がモノづくりに誇りとやりがいをもって働いています。

Q 年齢が50代ですが就職できますか。

A 企業の求人にもよりますが、過去に未経験の50代の方も就職している実績があります。

Q 女性ですが溶接工になりたいです。大丈夫でしょうか。

A 溶接・板金コースに入校される方の1割～2割は女性です。力仕事というイメージがあるかもしれませんが、最近はそうではなく現場で女性の活躍が目立ってきています。溶接作業は見た目には分かりづらいですが、かなり繊細な作業で、男女問わず活躍することが可能です。これまで溶接工として就職した女性の修了生も、企業から高く評価されています。モノづくりに興味のある方はぜひ一度コース見学にいらしてください。

